

2011 Abstracts for Specially Funded Research

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: SHIRAKAWA, Tetsurou, TAKEUCHI, Saori, SUMITOMO, Motomi メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/3853

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



「大正末～昭和戦前期の女子高等教育に関する資料のデータベース」作成に関わる研究

学芸学部 国文学科 白川 哲郎
学芸学部 教養教育事務センター 竹内さおり
田辺聖子文学館 住友 元美

本研究は、2003年度以来進めてきた「樟蔭学園草創期資料のデータベース化とその活用」「大正～昭和戦前・戦中期の女子教育関係資料のデジタルアーカイブ化とその基礎的研究」「戦前期女子高等教育機関の家政教育資料のデジタルアーカイブ化とその歴史的研究」を継承し、前年度から継続して取り組んでいる研究である。

2011(平成23)年度も、これまでと同様にブックスキャナーを使用して、樟蔭学園の各種資料、とりわけ樟蔭女子専門学校(以下、樟蔭女専)に関わる資料のデジタル化を行った。2011年度は其中でも、前年度に着手した1941(昭和16)年度以降の樟蔭女専『教務日誌』の翻刻とその分析に力を注いだ。加えて、1945年の敗戦をささむ樟蔭女専の最末期の時期に注目して作業と検討を進めた。

1941年度以降の『教務日誌』に関わっては、1944(昭和19)年度の『教務日誌』の内容について、白川が「教務日誌に見る昭和19年度の樟蔭女子専門学校」(『大阪樟蔭女子大学研究紀要』第2号、2012年)を発表した。そこでは、勤労働員、繰り上げ卒業、空襲という3つの観点から、『教務日誌』の内容を検討した。その結果、①この年度樟蔭女専の生徒は、学校内工場もしくは学校外工場へ原則全員勤労働員されていたこと、また、②9月には学校内工場の作業が3年生から1年生に交代しているが、それが3年生の繰り上げ卒業に伴う措置であったこと、③3年生の繰り上げ卒業に際しては、中等教員免許無試験検定への出願が樟蔭女専内部で大きな問題となっていたことなどが明らかとなった。さらに、④11月頃からは空襲警報を伝える記事が『教務日誌』に散見するようになること、⑤それに先立つ4月から樟蔭女専では、空襲に備える「教育訓練」が毎週火曜日に継続して実施されていた状況も明らかとなってきた。

こういった事実に基づくならば、当時の樟蔭女専の動向が、政府の方針に則ったものであったことが確認

される。まさにそれは、現実感が高まりつつある本土空襲の脅威に相对しながら、国策に則り勤労働員に生徒を集団的に動員する、十五年戦争最末期における女子高等教育の現場の実態であったのである。

一方、住友は、まさにその時期にあたる1944年から1947(昭和22)年にかけて樟蔭女専に在学していた作家田辺聖子氏の未発表原稿「十七のころ」を発見し、その内容を翻刻、紹介した(住友「〔資料紹介〕田辺聖子『十七のころ』」(『樟蔭国文学』49号、2012年))。

住友が紹介した田辺氏の「十七のころ」は、これまで題名だけは知られていたが、その内容については不明であり、田辺文学研究において一つの“謎”とされていた原稿であった。この原稿の発見は、学園にとっては、当時の女学生の雰囲気をつかむことができる資料の発見と位置付けることができる。そして田辺文学研究においては、その原点を知ることが可能となる原稿の発見であり、今後の田辺文学研究に大きく資することになるであろうと確信するところである。

なお、この原稿発見については、新聞各紙でも取り上げられたことは周知の通りである。

もう一点、2011年12月16日には、これまでに白川が関わってきた、学園資料についての調査・研究の成果や問題点と本学における自校教育科目「樟蔭の窓」との関連などについて、「大学資料と自校教育—大阪樟蔭女子大学の場合—」と題して、南山大学において講演したことも付け加えておきたい(南山大学史料室主催 大学史料室講演会)。

ここでは、大学(学園)資料が、大学や学園にとって貴重な資源であり、その活用の仕方次第では実に多様な可能性を秘めたものであることを強調したところである。その内容は、同名の講演記録として南山大学史料室発行の『アルケイア—記録・情報・歴史—』第6号(2012年)に掲載されている。